

---

10月28日（水） 19:00～21:30

## 【テーマ】 地域商社

### 【タイトル】

地域内連携型6次産業のプロデュース～地域資源のフル活用と農林商工者連携～

### 【概要／狙い】

地域の自立のためには、地域資源を有効活用して、外貨を獲得する必要があります。そのような意味で、地元の特産品を使った商品開発や六次産業化が有効な手立てではありますが、まだまだ地域資源を生かし地域にお金が循環する仕組みが作れていない地域が多いのが現状です。

また、都市へ地域資源を流すことで従属的な関係になったり資源枯渇に陥ったりするのではなく、地域資源の保全と再生産が適切に行われ、地域が豊かになる在り方を作る必要があります。

そこで、今注目を集めているのが、地域をまるごとプロデュースして地域外からのお金の流れを作る「地域商社」です。

高知県本山町にある木材加工ベンチャーばうむ合同会社の木製品は、大手ブランドからも受注が相次いでおり、東急ハンズでもその商品が取り扱われています。

なかでもレーザーカッターを活用した木材製品の評判が高く、その付加価値は、原木価格の150倍にまで上ります。しかしながら、高知県嶺北地域は豊富な森林資源に恵まれているにも関わらず、木材価格の低迷によって十分な森林整備が行われていない現状があります。

ばうむ合同会社では、木材の利用を促進し、木材価格の向上を図ることで自社も、地域も、自然環境も守られる地域が持続する商売の確立を目指しています。

木工品以外にも、地元ブランド米を活用した、焼酎の製造販売も行うなど、地域をまるごとプロデュースする地域商社の先駆的存在です。

---

本講座では、ばうむ合同会社がどのような考えで地域資源をとらえ、どのような方法で地域資源のプロデュースを行っているのかを学び、地域商社に必要なエッセンスを学びます。

**【場所】**

オンライン (Zoom)

**【講師】**

藤川 豊文 / ばうむ合同会社 代表

**【課題図書】**

『2030年の世界地図帳 あたらしい経済とSDGs、未来への展望』

著者：落合陽一 (SBクリエイティブ)

**【参考図書】**

『まだ林業で消耗してるの？「ばうむ」代表・藤川豊文さんから、自然を守る林業を学ぶ』 Kindle版

著者：イケダハヤト、藤川 豊文 (イケハヤ書房)

**【参考写真】**

